

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人鶴林福祉会つむぎの里		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日	~	2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	9	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日	~	2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 21日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境であり、清潔であること。また職員配置は子どもの人数や特性に対し、適切であること。	・子どもの特性に応じて、写真・絵カードやブース等を使用し、視覚支援や環境構成を行っている。また、刺激となるものを減らし、落ち着いて過ごせるようにしている。毎日降園後に安全な消毒液を用いて清掃を行っている。 ・職員は子どもの人数や特性に応じ、適切に配置している。	・引き続き、構造化された環境や清潔な空間作りを意識しながら、環境整備に努めていく。
2	・地域の関係機関や、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士）の助言をもらいながら療育を行っていること。	・専門職からの助言を受けながら日々の活動プログラムを策定し、適切な療育が行えるようにチームで取り組んでいる。	・引き続き、専門職の助言を受けながら、適切な療育ができるように、プログラムを検討していく。
3	・子どもたち一人一人に応じた活動プログラムを設定していること。	・子どもたちの特性や今興味のあるもの、好きなものを取り入れる等、教材や玩具を手作りし、子どもたちが楽しく取り組めるように工夫している。	・引き続き、子どもたちが楽しく取り組めるように工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等を開催できていないこと。	・以前は、保護者向けの勉強会や、保育参観、給食試食会を実施していたが、感染症対策のため数年実施できていない。	・令和7年度は保護者会、保育参観、給食試食会を実施する予定である。
2	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知が不十分であること。	・マニュアルを作成し、訓練等行っているが、保護者向けの内容の周知が不十分であった。	・令和7年度は保護者向けに周知を行っていく。
3			